



【開催報告（国際研究連携、インドネシア）】

第12回日本・インドネシア共同ワークショップを開催しました

国土技術政策総合研究所（国総研）にインドネシア公共事業省ヘルマント副大臣他をお招きして、インドネシア公共事業省道路研究所（IRE）と第12回日本・インドネシア共同ワークショップを開催しました。概要は以下の通りです。

開催日：平成26年3月13日（木）

場 所：国土技術政策総合研究所、(独) 土木研究所

議 題：①日本の“道の駅”制度のインドネシアにおける導入について
②アスブトンの実用化研究について

参加者：(インドネシア側) インドネシア公共事業省 ヘルマント副大臣、
インドネシア公共事業省 ノフリ副大臣秘書官
インドネシア公共事業省 バザ道路研究所長
インドネシア公共事業省 ナジブ道路研究所国際担当官
他

(日 本 側) 国土技術政策総合研究所 酒井所長
国土技術政策総合研究所 金井副所長
国土技術政策総合研究所 森道路研究部長
国土技術政策総合研究所 曾根国際研究推進室長
(独) 土木研究所 魚本理事長
(独) 土木研究所 大塚研究企画部長
(独) 土木研究所 久保舗装チーム上席研究員
他

(ワークショップの様子)



ヘルマント副大臣（中央）の挨拶



酒井所長による道の駅の説明



ヘルマント副大臣と酒井所長



ヘルマント副大臣と魚本理事長



曾根室長による道の駅現地説明



久保上席によるアスプトン実用化実験の説明

(参考) 活動経緯

国総研と IRE は、平成 21(2009)年 11 月(平成 26 年 2 月に更新)に交わした研究連携に関する覚書に基づき、これまでに以下の通り共同ワークショップを開催しています。

開催年月	概要
平成 21 年(2009) 6 月	連携意向/研究ニーズ調査会合(ジャカルタ、バンドン)
平成 21 年(2009)11 月	公共事業省研究総局道路・橋梁研究所(RDCRB、旧名 IRE)との研究連携覚書の締結
平成 22 年(2010) 3 月	第 1 回 WS 開催(バンドン) 副大臣ほか約 200 名参加、研究連携分野の特定
平成 22 年(2010) 6 月	RDCRB 所長他来日(つくば) (10 月開催の国際シンポジウムの事前調整会議)
平成 22 年(2010)10 月	第 1 回国際シンポジウム(第 2 回 WS)開催 気候変動・道路環境に関する研究連携に関するアジア太平洋シンポジウム共催(バリ、7 各国参加)研究プロジェクトの特定
平成 23 年(2011) 1 月	第 3 回 WS 開催(ジャカルタ)「研究ロードマップ合意Ⅰ」
平成 23 年(2011) 6 月	第 4 回 WS 開催(スラウェシ)「研究ロードマップ合意Ⅱ」
平成 23 年(2011) 9 月	Study Tour in Japan 開催(つくば他)(実験施設の現代化調査)
平成 23 年(2011)10 月	第 2 回国際シンポジウム(第 5 回 WS)開催(マタラム) 進捗発表/共有等
平成 24 年(2012) 3 月	第 6 回 WS 開催(バンドン) 「研究ロードマップ合意Ⅲ(改定含む)」
平成 24 年(2012) 6 月	第 3 回国際シンポジウム開催(第 7 回 WS) 開催(バタム) 「研究ロードマップ合意Ⅳ(改定含む)」技術紹介・現地適応性検討等
平成 24 年(2012) 6 月	3 カ国中間報告ワークショップ開催(つくば他) 各研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動について、研究実務者が共同で活動状況及び成果について中間報告を開催
平成 25 年(2013) 1 月	第 8 回 WS 開催(ジャカルタ) 5 つの研究連携プロジェクト(道路環境、道路交通、交通安全、舗装、トンネル分野)の意見交換及び現地調査等
平成 25 年(2013) 8 月	第 9 回 WS 開催(パダララン-バンドン) 4 つの研究連携プロジェクト(道路交通、交通安全、舗装、トンネル分野)の意見交換及び現地調査等
平成 25 年(2013) 10 月	第 10 回 WS 開催(東京) 道の駅に関するスタディーツアー及び 2 つの研究連携プロジェクト(舗装、トンネル分野)の意見交換及び現地調査等
平成 26 年(2014) 2 月	第 11 回 WS 開催(ラブアンバジョー他) ヘルマント副大臣の表敬訪問及び 4 つの研究連携プロジェクト(経済と道路、道路環境、交通計測、トンネル)の意見交換及び現地調査等

以上